

「企業理念」われわれは人類社会向上のベースたる働きをするものである。



てんひこ

発行所 株式会社 天彦産業

編集発行責任者 トキメキ委員会



いよいよ本物企業の実現へ



代表取締役社長
樋口 友夫

平成26年度がスタートしました。前期は皆さんの頑張りで目標を達成することが出来ました。達成の研修旅行はタイの政情不安で6月に延期になりましたが、楽しみです。

◆**今期のキーワードは「次の一手」です。** DCT140のゴールは2016年3月ですが、常に先を読んで手を打たないといけません。

事業展開、経営戦略、経営体制、販売戦略、商品戦略等々の中長期を見据えた「次の一手」が大切だからです。

◆**今期の経営基本方針は次の三つです。**

◆**経営は社員第一、社員は顧客第一**

◆**働き甲斐のある職場へ仕組みづくり**

◆**三方よしで3H（自らの幸福・家族の幸福・会社の幸福）を追求しよう**

何故、社員第一主義なのか改めて説明しますと、三方よしを心からやる為にはこの会社により甲斐、生き甲斐がなければ出来ないからです。愛社精神があつてこそ顧客満足を追求でき

るのです。更に企業の健全性は顧客満足の大きさに比例するからです。

◆**経営者が求める人材は「働く人（周囲を楽にする人）」です。** 自らの活動で家族やお客様、仲間が幸せになることに充実感を感じて欲しいのです。

人生の大切な時間をこの天彦産業で使うわけですから、充実していないと意味がありません。

◆**特に社内外の人の縁を大切に**して、生涯に繋がる関係づくりを意識して欲しいのです。平均寿命が延びていることにも関係していますが、充実した人生創造をこの会社でやって欲しいのです。

◆**新年度が始まり、大きな出来事が二つも起きました。**

一つは内閣総理大臣・安倍晋三首相が4月に来社されたことです。女性の活躍推進が『安倍内閣の成長戦略に相応しい企業』のお言葉を残していただきました。もっと嬉しかったことは直前まで守秘義務で総理来社を知らなかった社員の皆さんが、短期間で来社体制を作り上げてくれたことです。

◆**もう一つは春の叙勲、旭日双光章**を会長が受けることになったことです。

◆**多年にわたり業界活動を真摯に携**わってきたことを評価していただきま

した。
私利私欲無く、世のため人のために活動を続けてきた会長に敬意



取締役副社長
(H26.6.1より)

樋口 威彦

皆様に必要とされる新しいてんひこ像の確立

◆**のお役立ちを考え、実行できる仕組みづくりを行います。** 例えば、上海とパシフィックにある海外現地法人と本社営業とで連携することで、国内外のお客様に有益なお役立ちをできないかとトライしていきます。

◆**第三に、仕入先様、金融機関様に**安心していただけるような財務基盤作りを取り組めます。そのためには、原価・利益に対する考え方について見直しをしていきます。これは海外現地法人も同じです。

◆**最後に、これらの仕組みづくりを**行えるよう既存の業務についての見直し、見える化を実行します。その為には社員も個々の更なるレベルアップが必要であり社内セミナーの実施や、新しく導入した新人事考課システムを活用しての人材育成を進めていきます。

◆**これから10年、20年の会社づくり**にトライすることが私の使命であり責務であると考え、「皆様に必要とされる新しいてんひこ像」を関係する皆様方と作り上げて行きたいと考えています。

平成25年度

◆年間賞発表◆

天彦賞

第一営業部 廣岡 誉健

天彦賞に選出して頂きありがとうございます。

このような賞に選んで頂けるとは夢にも思っておりませんでしたので、受賞当日は上手く言葉にすることができませんでした。選出理由として「新規商流開拓やお客様への満足度」とお褒めの言葉を頂きましたが、まだまだ至らない事ばかりと感じています。昨年は自部門、他部門共に様々な方のお力を借り、積極的にアクションできたのではないかと思います。既存顧客の新規案件を引き出す時間を作り少しでも案件を獲得できないか。新規顧客に対しコストダウン、工程短縮を図れないかと心がけアクションしてきたつもりです。今までと同じ事を繰り返すだけでは進歩できないので、変える事、やめる事も開発の一つとして今後も行動していきたいと思っています。また開発に関して、新宮課長が仰っていたように新規開発についてもっと社内連携をとり天彦の新しい主軸となるような案件を少しでも獲得できるように私も取り組んでいきたいと考えております。今年はずっとチーム天彦として盛り上げられる一員（一因）になれるよう成長していきたいと思っています。ありがとうございます。

成長賞

CSセンター主任 濱田 考志

成長賞に選んでいただきありがとうございます。

ございました。

一年を振り返ってみて、これまでと違った所は社外の人とのやりとりが沢山あったと思います。特にT興産の社長には大変お世話になりました。しよっぱな怒られる事から始まり、仕事についてのアドバイスも頂いたり、たまに愚痴も聞かされたりと色々な事がありました。最近ようやく私の話も聞いて頂けるようになってきたかなと感じております。その他にも仕入れ先や機械メーカー、よく来るドライバーの方々とのやりとりが沢山あり、様々な経験を積ませていただきました。その事が私自身の成長に繋がりが皆様に評価していただけたように思っております。全ての人に対し共通して思う事は、気持ちよく帰っていただき、次回来られた時にも笑顔で挨拶を交わせるような関係を築いていきたいと思っています。今年一年は私個人のさらなる成長と共にCSセンターの組織としての成長が大きな仕事だと考えていますのでこれからも皆様の叱咤激励よろしくお願ひいたします。ありがとうございます。

期待賞

TWS海外営業部門 係長 伊藤 美保

期待賞に選出頂きありがとうございます。

振り返ってみると、今年度の初めは台湾の担当になり大きな予算を持つのも初めてのことで4～5月は出張とメイン商材の在庫化による発注管理をうまくコントロールする為、田中さんと調整することから始まり、上期では海外営業部門が期首予算に対し大きくマイナスしてしまったため、下期は如何にして海外営業部門トータルで売上を伸ばし予算達成するかに拘って業務を行いました。また、初めて販売総括にて下期予算の各営業担当の数字の分析、ヒアリングを行い、全体の数字の把握をしました。ただ分析するだけで終わってはい

けないと課題が残っています。今までは全く仕事の内容も異なり試行錯誤しましたが、部門メンバー各々が得意とする分野をきっちり業務推進し、かつ報連相がとて、自分の仕事に集中できる環境ができています。下期より体制も変わり、自分達が甘えすぎたことも痛感し、各人が自身で出来る少し難しいことにもチャレンジしていく姿勢が増えています。個で仕事をやるのではなく、連携すればより仕事が広がっていくことを標準化し、これからは私の出来ること、出来ないことも皆さんと協力しながら進められるようにしていきたいと思っています。

期待賞

管理・IT部門 係長 東 久美子

期待賞ありがとうございます。

今年は今までと少し違った取り組みをしてまいりました。

「現状を数字で表現」することを意識し、資料を作ることに努めました。その「数字」の根拠を紐解くことがなかなか難しく、その根拠をたどると問題にぶつかる。その問題を解決することに時間や根回し、理解が必要になる。そのため、今年は納得のいく結果がなかなかでいなかったと思います。しかし、その動きを注視していただいているからこそ、今回の期待賞をいただいたのだと受け取っております。

そして、この動きは各部門長のご理解とご協力があったからこそ前進できていると感じています。その各部門への働きかけを後押ししていただいた上司のお力があってこそだと思っています。

これからもっと成果がだせるよう、問題を一つずつ解決・改善をしながら、「社内」で統一の価値観・判断基準」ができるよう地盤をかためていきたいと思っています。ありがとうございます。

昇格人事

第二営業部門 課長代理

出田 秀樹

管理・IT部門 係長

水田 誠二

第一営業部門 主任

檜木 春菜

TWS 海外営業部門 主任

竹中佑三子

松本 修司

宇田川彩佳

◎退職

祝賀

樋口会長 傘寿



村上さんご勇退



2013年 10大ニュース

- ①「ダイバーシティ経営100選」に選ばれた事を受け著書「ホワイト企業」にも掲載される
- ②昇格人事、天彦初の女性3人の管理職誕生する。
- ③販売総括と企画開発部を加えた4部門制で新たに営業スタートする。
- ④新規大型取引始まる。倉庫内に置き場新設とスリッター機導入
- ⑤末永君育児休暇取得する。
- ⑥内容・デザイン共にリニューアルされた会社案内完成。
- ⑦特殊鋼販売技師2・3級全員合格。朝比奈君天彦初

- の満点合格する。
- ⑧村上さん65歳で円満退社。ご苦労様でした。
 - ⑨上海天彦新工場/上海市嘉定区に完成。
 - ⑩幹部社員の会・キーワード「キャッチ天彦」スタートする。※キャッチ=キャッチボールの略
- 次点**
- ・社内安全プロジェクト開設、安全整備に取り組む。
 - ・関連会社野水鋼鐵店新社屋完成する。リ・スタートで社員一丸となる。
 - ・一味違う望念会(忘年会)を初のフレンチ・レストラン「ルクロ・マリアージュ」で行う。

★なんでもランキング★

- ユニークで賞 西 淳史
- 魅力的で賞 田中 優香
- 倍返して賞 新宮 義之
- 思いやりがあるで賞 兼子 みさ
- 頼りがいがあるで賞 川野 葉子
- 連携を取ったで賞 出田 秀樹
- いつやるの!?今で賞 伊藤 一成

★H25年度ベスト社員★

平成25年 1月度	尾藤 伸大
2月度	水田 誠二
3月度	谷 芳典
4月度	檜木 春菜
5月度	濱田 考志
6月度	廣岡 誉健
7月度	伊藤 一成
8月度	中井 俊章
9月度	兼子 みさ
10月度	宇田川彩佳
11月度	出田秀樹・東久美子
12月度	川野 葉子

誕生

企画開発部門 末永 嘉彦



平成25年11月18日、長男が産まれました。予定日より3週間早かったのですが、体重は3,072gで、とても元気な子です。名前は「照安(しょうあん)」と名付けまし

た。この子が産まれる2ヶ月前に祖母が亡くなり、祖母の名から「照」の字をもらいました。優しく強い祖母のように成長して欲しいとの意味を込めています。この子が大きくなったら、一緒に京都マラソンを走るのが私の夢です。

T I T メンバー来社

1/23 TENHIKO INDUSTRIAL (THAILAND) より 小林 MD, Pinさん、Jibさん、Plernさんが来社されました。1日目は本社を訪問され、2日目は冬の金剛登山に参加して頂きました。



1日目



2日目

■平成25年度 感謝状贈呈先

社会貢献

中岡順治様 田中優香さんのご祖父様

田中さん入社以来プルトップの収集にご協力を賜っています。

和田時子様 社長の義母様

プルトップ、キャップ収集においてキックオフ段階から一番沢山のご協力を賜りました。

OSP 事務局様

プルトップ、キャップ収集において積極的にご協力を賜りました。

関係先

鶴町銅産様

長年にわたり、無理な納期依頼に対しても、しっかり対応して頂いております。

安心して配送業務をお願いできたと感謝しています。

MTC様

東大阪時代より多年にわたり、名刺等の特急対応にも気持ちよく応じて頂いています。

月星海運様 南港営業所様

特別な御配慮を頂き書類・価格においても満足のいく対応をしてもらっています。

特殊溶接棒様 乾工場長様

金型補修、ラックの手直しその他色々なことでも相談に乗っていただいています。

(株)JTB西日本 中村亜紀子様

いつも我社の立場に立ってチケット発行などに配慮してもらっています。



〈総理到着〉



〈会長・社長 総理と名刺交換〉

長い歴史に新しい足跡 安倍晋三内閣総理大臣来訪



〈集合写真〉



〈工場見学して頂きました〉



〈総理と懇談会〉



発行者：(株)天彦産業
トキメキ委員会



〈たくさん取材陣が来られました〉



〈熱心に話を聞いてくださいました〉



〈総理と2ショット〉



〈色紙にサインを頂きました〉



〈社員全員と握手してくださいました〉



〈出発〉



〈引き続き取材対応〉

平成二十六年四月十八日午後二時五十五分、第九十六代内閣総理大臣安倍晋三氏が弊社視察に来られました。中小企業での女性活用の現場を視察したいとの強い希望で実現いたしました。弊社社長の樋口が工場内を案内させていただき、場内にて女性社員五名との懇談がおこなわれました。(伊藤美保、竹中佑三子、樋口志野 以上3名 海外営業部門 佐波芳 浅田茉莉 以上2名 国内営業部門SP) 冒頭社長より今回の視察に弊社を選んでいただいた謝意を述べた後、弊社の経営基本方針の説明があり、懇談会がスタートいたしました。在る社員からは、子育てと仕事との両立の難しさは有るが、同僚女性社員や会社の理解があったので此処までやってこれたとの感謝の言葉がありました。又、在る社員からは就職活動中に弊社に出会い、その家庭的雰囲気と、結婚しても仕事を続けていける環境が入社の決め手との話が有りました。鉄鋼業と女性、一見して活躍するイメージが湧かなかったり、結婚までの腰掛との先入観が有りますが、中小企業においてはその制度を充実させること以上に、共に手を取り合って助け合う精神を企業風土に構築する事で、女性が活躍する余地がふんだんに有るとの印象を総理もお持ちいただけたと思います。



樋口会長
2014年春の旭日双光章受章



平成二十六年五月十三日、ザ・プリンス パークタワー東京の「ボーム ルーム」(東京都港区)において勲章伝達式が行われました。
経済産業副大臣 松島 みどり氏の祝辞に続き、
受章者全員(経済産業省関係百三十二名)の名前が読み上げられ、
経済産業省幹部より勲章を拝受いたしました。
その後皇居「春秋の間」にて天皇陛下に拝謁いたしました。
長年に渡り、業界の発展に尽力した功績を評価して頂いたのですが、
実は実父(三代目社長 樋口彦三郎)も中小企業振興の功績により
昭和五十六年秋に勲四等瑞宝章を受章しており、今回、二代続いての
名誉ある受章となりました。来年創業百四十年に向けて喜ばしい話題です。

 てんひと
Since 1875

